

MEIJIMURA

Vol.97 2019 Autumn

明治村だより

日本八景

日本ライン沿岸一帯

松茸狩り



特集

るろうに剣心特別展

剣心が見た幕末と
新時代の到来

博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

1. 法人会員の種類と会費 (各1口あたり、消費税込)

- 一般会員 10万円
- ゴールド会員 100万円

2. 会費の用途

明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。

3. 会員期間

入会日より1年間
(入会月の翌年当月末日まで)

4. 会員の特典

- 会員証(記名式)の発行
- 招待券の贈呈
- 刊行物等の贈呈
- 芳名の掲示
- 法人名の銘板付きベンチの設置 (ゴールド会員のみ)

5. 問い合わせ先

公益財団法人明治村 協賛担当
住所:〒484-0000
愛知県犬山市字内山1番地
TEL:0568-67-0314
E-mail:meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp

協賛会員 (令和元年8月15日現在)

敬称略:五十音順

ゴールド会員

大成建設株式会社

矢作建設工業株式会社

一般会員

アイカ工業株式会社

株式会社アイチケン

アサヒ飲料株式会社

アサヒビール株式会社

株式会社アシスト

厚見建設工業株式会社

株式会社安藤・間

株式会社石三組

株式会社磯部組

株式会社伊藤園

伊藤忠商事株式会社

因幡電機産業株式会社

株式会社魚津社寺工務店

株式会社NTTドコモ

株式会社NTTファシリティーズ

大竹建設株式会社

株式会社大塚商会

株式会社大林組

株式会社オノコム

鹿島建設株式会社

川重商事株式会社

株式会社関電工

麒麟ビール株式会社

麒麟ビバレッジ株式会社

株式会社熊谷組

株式会社鴻池組

五洋建設株式会社

サッポロビール株式会社

佐藤工業株式会社

三幸エステート株式会社

サントリーコーポレートビジネス株式会社

株式会社シーイーテック

清水建設株式会社

株式会社新高土木

ソフトバンク株式会社

大興建設株式会社

タイードリンク株式会社

大日本印刷株式会社

株式会社竹中工務店

株式会社谷澤総合鑑定所

中京テレビ放送株式会社

中設エンジ株式会社

鉄建建設株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

東洋電機製造株式会社

戸田建設株式会社

飛鳥建設株式会社

名古屋トヨペット株式会社

一般社団法人ナゴヤハウジングセンター

西日本電信電話株式会社

西松建設株式会社

能美防災株式会社

株式会社ハウスメイトマネジメント

白山建設株式会社

株式会社長谷工コーポレーション

パナソニック株式会社

ビジネスコミュニケーション株式会社

株式会社日立製作所

株式会社ファミリーマート

株式会社福利厚生倶楽部中部

株式会社フジタ

株式会社不動テトラ

ブリヂストンタイヤジャパン株式会社

ホーチキ株式会社

ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

前田建設工業株式会社

株式会社丸久尾崎組

株式会社三浦工務店

三井住友海上火災保険株式会社

三菱電機株式会社

名高土木株式会社

名鉄EIエンジニア株式会社

名鉄環境造園株式会社

名鉄ビルディング管理株式会社

株式会社森本組

株式会社ヤシマキザイ

ユーシーシーワーズ株式会社

リコージャパン株式会社

株式会社ローソン



令和元年9月18日発行「明治村だより」第97号(令和元年 秋)

発行 博物館明治村 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
電話 (0568) 67-0314 <http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第98号発行のお知らせ

発行時期 令和元年12月中旬(予定)

申込方法 「明治村だより」第98号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申し込み下さい。

「名鉄電車」ポスター下絵/ 昭和3(1928)年 吉田初三郎画 大正から昭和にかけて「初三郎式鳥瞰図」と呼ばれた、数多くの美しい観光鳥瞰図を描いた明治生まれの画家・吉田初三郎(1884-1955)による、日本ラインの観光案内ポスターの下絵です。日本ラインは岐阜県南部の木曾川中流にある深谷で、昭和2年の毎日新聞社主催による日本八景の募集において、川の部第1位となった景勝地です。

現在、博物館明治村では、人気シリーズ「るろうに剣心―明治剣客浪漫譚―」の「るろうに剣心―明治剣客浪漫譚―北海道編」と連動した「るろうに剣心特別展」が「剣心が見た幕末と新時代の到来」を開催しています。この作品は史実を交えたフィクション

ではありませんが、幕末から明治という混沌とした時代を、巧みに描き、多くの歴史愛好者を醸成しています。今回は五つの展示コーナーから資料をピックアップしてご紹介いたします。展示会を楽しんでいただく一助としていただければと思います。

「剣心」の誕生と激動のはじまり

黒船来航

ペリー肖像

【黒船館蔵】

嘉永六（一八五三年）六月三日、アメリカ東インド艦隊司令官ペリー（Perry, M.C.）が浦賀沖へ来航しました。十八世紀末には、日本近海に多くの外国船が出没していました。そして、ペリーの来航は前年に長崎のオランダ商館を通じて、幕府へその情報もたらされてきました。しかし、予測されたこととはいえ、ペリーの来航は、人々に大きな衝撃を与えました。なぜならば、船はそれまで目にしてきた帆船ではなく、黒くタールで塗装された4隻の軍艦で、そのうち2隻が、黒い煙を吐き出す蒸気船であつ

たことと、ペリーが大統領からの親書を手に幕府に開国を迫ったからです。ペリー艦隊とペリーへの関心の高さは、多くの瓦版と呼ばれる刷物が各地に出回ったことからわかることができます。そしてそこに描かれているペリーはどの顔も同じものは二つとありません。顔だけでなく手が鶏のように描かれているものなど、絵師たちが「外国人」を得体の知れないものとして想像を逞しくして描いたことがわかります。

あめの夜の夢咄し

【福島県歴史資料館蔵】

この資料の冒頭に描かれたペリーの肖像は前出のものとは異なり、写実的に描かれています。それもそのはず、この資料の著者・菅野八郎（以下、八郎と略す）はペリーの姿を目の当たりにし、この絵を描いたのです。八郎は文化七（一八一〇）年に現在の福島県伊達市で生まれました。彼はペリーの初来航の翌年の一月に三度にわたり、霊夢を見たといっています。その夢は外国が「近くは三ヶ月か三ヶ年、遠くは三十ヶ年か三百年の間」に我が国を侵すとして、その防備策を説いたのです。八郎はこの霊夢による海防策を目安箱に投入するため江戸へ向かった折に、ペリーの姿を目

人斬り抜刀齋

攘夷から倒幕、そして維新へ

【金沢市立玉川図書館近世史料館蔵】

長州征伐配備図

【金沢市立玉川図書館近世史料館蔵】

元治元（一八六四）年七月十九日、京都を炎に包んだ禁門の変は、御所を警護する会津藩や薩摩藩と長州藩が激突し、引き起こされたものです。この後、長州藩に討伐の命が下され、前尾張藩主徳川慶勝を総督とした征討軍が組織されました。三十五の藩と十五万人の兵が参加したといわれ、この図は各藩がどこを守るかを明記したもので、加賀藩に伝わる資料です。

人斬りから流浪人へ

「明治」の始まり

錦の御旗

【立花家史料館蔵】

戊辰戦争で、官軍勝利に大きく貢献したのが、この錦の御旗です。戊辰戦争とは、王政復古により成立した新政府と旧幕臣や佐幕諸藩などの反政府勢力との間で引き起こされた戦争で、慶応四（一八六八）年一月三日の鳥羽・伏見の戦いから翌年五月十八日の箱館陥落までの一年半に及んだ国内での戦いです。

大阪城に集う幕府軍と徳川慶喜の入京

を阻止しようとする新政府軍が鳥羽・伏見の両街道での押し問答から戦闘となったのです。新政府軍は錦の御旗を掲げ、兵士たちの士気を鼓舞し、逆に幕府軍は「賊軍」とされたことで意気消沈し、戦局に大きな影響を及ぼしたと言われています。

この錦の御旗は柳河藩（福岡県）の最後の藩主・立花鑑寛が京都御所で拝領したものです。柳河藩は当初は幕府側についていましたが、鳥羽伏見の戦い後、新政府軍に参加。その際にこの錦の御旗を拝領し、その後、戦地が東北に移ると、東北各地を転戦しました。

にし、それをもとにこのペリーの肖像を描いています。この資料の中ではペリーの肖像、世界地図が紹介され、視野を広げることとともに、海防の必要性を説いたものです。（展示期間は10月下旬まで）

目の前の「幸せ」を守るために

「新時代」の光と影

免役御条目略解

〔博物館明治村 蔵〕

明治維新の三大改革といわれるのが徴兵令・学制・地租改正です。徴兵令は、山縣有朋が主導、国民皆兵を目指し、明治六（一八七三）に制定されたものです。男性は、身分にかかわらず、二十歳に達した者か

ら選抜されて、三年間の兵役の義務を負うもので、人々にとっては新たな負担となつた上、旧武士も特権を奪われる結果となり、各方面からの強い反発を招きました。ただし一定の条件を満たしていれば兵役を免れることができました。

この錦絵は調練の様子を描きながらも、上部には兵役を逃れることができる条件を書き連ねています。

剣心が望んだ「新時代」、その実態は…

久保利通が求めた理想

故内務卿贈正二位 右大臣久保利通公肖像

〔博物館明治村 蔵〕

久保利通は、西郷隆盛、木戸孝允とともに維新三傑と称されています。天保元（一八三〇）年薩摩藩士の子として、鹿児島城下で誕生。薩摩藩主島津茂久（忠義）やその父で藩内に大きな力を持っていた島津久光の信用を得、藩内での地位を築いていきます。当初は島津久光とともに公武合体を目指していましたが、その後、倒幕へと舵を



免役御条目略解



久保利通公肖像

きり、公卿の岩倉具視や長州の木戸孝允らと知己を得、薩長同盟、王政復古の号令へと時代を導くリーダーとなりました。久保は新政府のもとで参与、大蔵卿という要職に就き、版籍奉還、廢藩置県を実現していきます。そして、岩倉使節団の副使として、欧米を視察。ここで得た知見が、今後日本が近代国家として歩むべき道を示していきます。

明治六年に内務卿に就任し、政府の絶大な権力を握り、台湾出兵に反対した木戸孝允、征韓論に破れ不平士族と反乱を起こした江藤新平、征韓論で対立した後、西南戦争を引き起こした西郷隆盛を鎮圧しました。久保は内務卿として、近代国家建設の強力な主導者となり、殖産興業の進展を急務としました。彼は奥羽御巡幸の下見の際に目の当たりにした福島県と地元が協働して取り組んでいた開拓事業と、没落して困窮していた士族の授産を結びつけること

で、新たな殖産興業のモデルとして展開することとしました。しかし、志し半ば、明治十一年五月十四日、加賀藩士の凶刃により東京・紀尾井町の清水谷で落命しました。

斬姦状

〔石川県立歴史博物館 蔵〕

紀尾井町事件は、明治十一年（一八七八）年五月十四日、赤坂飯御所へ向かう途中、清水谷（現在の東京都千代田区紀尾井町）で石川県士族ら6名により久保利通が暗殺された事件です。久保は事件当日の早朝、自邸を訪れた福島県権令（現在の知事にあたる）山吉盛典と、安積疏水開墾事業など福島の開拓事

業と、「維新の盛意を貫徹せんには三十年を期する…」で有名な三十年計画について熱く語り合いました。そのわずか30分ほどの後に石川県士族島田一郎、長連豪らの襲撃を受け、命を落としました。彼らは政府の専制、士族の排斥、民権抑圧と国費の浪費、外交の失敗が国権の失墜を招いたなど、久保暗殺の理由を認めた斬姦状を手に、事件後すぐに飯御所へ出頭しました。この斬姦状は島田一郎の遺族に遺されたものです。

※ ※

この展覧会では、ここで紹介した五つのコーナーのほかに、本展のために刀匠が製作した剣心の不殺の信念を体現した「逆刃刀」、そして「るろうに剣心」原作に触れる2つの展示コーナーを九月十一日から追加して公開しています。展示されている資料一点一点から読み取れる歴史の広がり、「るろうに剣心」の世界を存分に感じ取っていただけましたら幸いです。

るろうに剣心特別展「剣心が見た幕末と新時代の到来」出品リスト

敬称略

No.	資料名	所蔵
1	異国船一巻	金沢市立玉川図書館近世史料館
2	萬国山海通覧分図	武雄市
3	海陸御固場所附	黒船館
4	嘉永六年九月二日	黒船館
5	品川大筒御台場出来之図	黒船館
6	亞墨利加蒸気車	黒船館
7	あめりかことば和解の写	黒船館
8	御貿易場	黒船館
9	あめの夜の夢咄し	福島県歴史資料館※
10	ペリー肖像	黒船館
11	六箇国海岸御固行列之図	黒船館
12	海陸御固大名並御役人附	黒船館
13	生麦之発殺	博物館明治村
14	日本外史之内 禁門の変	博物館明治村
15	Illustrated London News	武雄市
16	斬奸趣意書	福島県歴史資料館※
17	アームストロング砲(複製)	武雄市
18	ハンドモルチル	板橋区立郷土資料館
19	ホイッスル砲(模型)	金沢市立玉川図書館近世史料館
20	砲丸(モルチル砲用)	金沢市立玉川図書館近世史料館
21	砲機図解	板橋区立郷土資料館
22	兵学に関する図説集	金沢市立玉川図書館近世史料館
23	ゲベール銃	板橋区立郷土資料館
24	ミニエー銃	板橋区立郷土資料館
25	スナイデル銃	板橋区立郷土資料館
26	スナイデル銃	武雄市
27	スパンサー銃	武雄市
28	射的用標的	板橋区立郷土資料館
29	撰州大坂御固京都御警衛	福島県歴史資料館※
30	錦の御旗	立花家史料館
31	鳥羽伏見事件書上	金沢市立玉川図書館近世史料館
32	城州伏見下鳥羽合戦之図	霊山歴史館
33	毛理嶋山官軍大勝利之図	石川県立歴史博物館
34	東台大戦争図	博物館明治村

No.	資料名	所蔵
35	東台 山王山戦争之図	博物館明治村
36	新選組袖章	霊山歴史館
37	東叡山文珠樓焼討之図	博物館明治村
38	慶応戊辰五月十五日	博物館明治村
39	白虎隊英勇鑑	博物館明治村
40	会津軍記	霊山歴史館
41	乍恐以始末書赤心奉獻願候	福島県歴史資料館※
42	人相書	福島県歴史資料館※
43	長州毛利征伐討手諸大名図	福島県歴史資料館※
44	長州征伐配備図	金沢市立玉川図書館近世史料館
45	剣道試合遍歴帳	福島県歴史資料館※
46	免役御条目略解	博物館明治村
47	徴兵令免役届	博物館明治村
48	米倉村徴兵年令調書人別表	博物館明治村
49	外桜田陸軍調練の図	博物館明治村
50	癸酉 地租皆済目録	博物館明治村
51	地租改正地価取調帳	博物館明治村
52	地租改正地価取調帳	博物館明治村
53	鹿兒嶋戦場名記	博物館明治村
54	降伏勧告紙	博物館明治村
55	降伏勧告紙	武雄市
56	鹿兒嶋戦争記	博物館明治村
57	西郷隆盛像	博物館明治村
58	征韓論の図	武雄市
59	皇国一新見聞誌 佐賀の事件	武雄市
60	日記 軍事方 (草稿)	武雄市
61	近世四戦紀聞	武雄市
62	皇国高官鑑	博物館明治村
63	徴兵令と附録	博物館明治村
64	斬姦状	石川県立歴史博物館
65	島田一郎遺言状	石川県立歴史博物館
66	獄中手記	石川県立歴史博物館
67	故内務卿贈正二位右大臣 久保利通公肖像	博物館明治村
68	疏水式一件 其ノ他	福島県歴史資料館※

No.	資料名	所蔵
68	鑿湖件	福島県歴史資料館※
69	猪苗代湖疎水路	福島県歴史資料館※
70	ベンチ(久保利通所用)	久保利通
71	写真 久保利通の子どもたち	久保利通
72	色紙 久保利通筆	久保利通
73	刀 銘兼元(孫六兼元)	関市
74	逆刃刀	博物館明治村

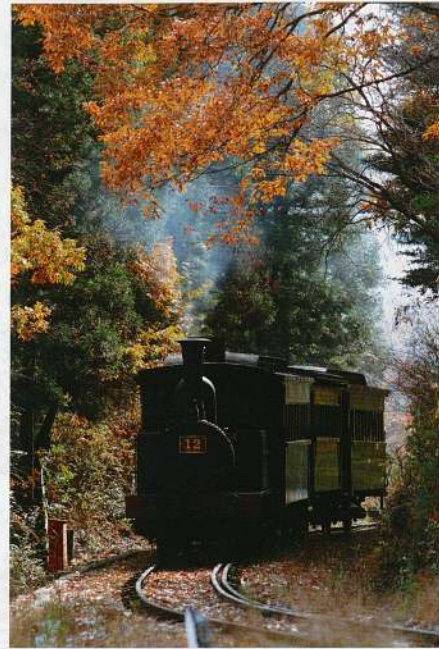
※の展示期間は10月下旬まで。(期間中、器資料の展示替を行います。)

No.	資料名	画像提供
1	元治元年外艦馬関砲撃	山口県立文書館
2	馬関砲台写真	山口県立文書館
3	仏艦前田砲撃	山口県立文書館
4	四境戦之図	山口県立文書館
5	馬関戦之図	山口県立文書館
6	吉田松陰 肖像	山口県立文書館
7	吉田松陰「松陰詩稿」のうち「西征残稿」	尾鷲市立中央公民館郷土室(国文学研究資料館)
8	戊辰所用錦旗及軍旗真図	国立公文書館
9	第二次長州戦争 芸州口敵味方配置図	国立歴史民俗博物館
10	奇兵隊入隊 以前銘々処々戦争付立	山口県立文書館
11	奇兵隊日記	山口県立文書館
12	薩長同盟	書院部図書寮
13	岩倉大使二行写真	国立歴史民俗博物館
14	岩倉使節団 薩摩出身者	国立歴史民俗博物館
15	久保利通肖像写真	国立歴史民俗博物館
16	濟世遺言	国立歴史民俗博物館
17	安積疏水建設に関する追遠碑文	国立歴史民俗博物館
18	島田一郎写真	石川県立歴史博物館
19	久保利通暗殺の刀	警視庁



これらの入賞作品は令和元年9月14日(土)～12月15日(日)、東山梨郡役所2階で展示されます。

入選	明治のある風景賞	夕暮の燈台	高井 正己
	鉄ショット賞	「楽しい1日 だったね」	加藤 聡史
	フェスティバル賞	明治の花火を楽しむ	渡邊 道雄
	季節のうつろい賞	天空の架け橋	東 孝
松山・明治体感パートナー賞	明治にタイムスリップ		平林 裕
	新緑の金沢監獄門		加藤 俊郎
	呉服座令和の大賑い		柴田 光弘
	Lady Go!		大江 雅史
協賛 会社賞	晩秋の彩り		上野 仁
	ピックカメラ賞	紺碧な空に白い灯台	中山 俊夫
	ピックカメラ賞	新緑	鎌田 弥生
	ピックカメラ賞	爽春	高橋 茂夫
	ハクバ写真産業賞	水たまりに映る 霧の第八高等学校正門	佐原 洋一
	ハクバ写真産業賞	吾輩は猫である	宮本 奈々
	CAPA賞	橙に染まる	田中 雄一
審査員特別賞	CAPA賞	銀河鉄道に出発	岡田 和子
	聖なる光の絨毯		浅井 裕
	秋彩		村松 義喜
	秋色宝石箱		西尾 奈々
	鮮やかにお出迎え		吉野 正伸
	バルコニーからの雪景色		森山 圭介
	湧き上がる雲		菱田 健



特賞
鉄ショット賞
「晩秋の旅路」西尾 勝利



特賞
フェスティバル賞
「お祭り気分」三須 美樹



特賞
季節のうつろい賞
「春色に包まれて」服部 哲治

明治村写真コンテスト 紙上展覧会



明治村大賞「聖ヨハネ教会堂雪景」西村 修



村長賞
「蒼天」武田 英樹



特賞
明治のある風景賞
「magic hour」田中 賢

明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

【応募期間】2019/7/1～2020/6/30

- テーマ: 明治村を表す作品 明治村の四季折々の美しさや賑わい、明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- 規定: 詳細は専用チラシ・HPをご覧ください
- 締め切り: 2020年6月30日(当日消印有効)
- 審査: 明治村で選考した委員
- 発表: 2020年8月末までに本人宛に通知
- 表彰式/作品展: 2020年秋を予定
- 主催: 博物館 明治村
- 協賛予定: 坂の上の雲ミュージアム、株式会社ビックカメラ、ハクバ写真産業株式会社、株式会社学研プラス
- 応募及び〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地 博物館明治村 写真コンテスト係 問合せ先: 電話 0568-67-0314 FAX 0568-67-0358

●賞		
明治村大賞	1点	賞金10万円・賞状・賞品
村長賞	1点	賞金3万円・賞状・賞品
明治のある風景賞 (建物や村内の風景をおさめた写真が対象)	2点	
鉄ショット賞 (SLや京都市電など乗り物の写真が対象)	2点	
フェスティバル賞 (村内で開催されたイベントの写真が対象)	2点	
季節のうつろい賞 (季節を感じられる写真が対象)	2点	
特賞: 賞金2万円・賞状・賞品	入選: 賞金1万円・賞状・賞品 (各賞1点づつ)	
坂の上の雲ミュージアム賞	5点	
ビックカメラ賞	3点	
ハクバ写真産業賞	2点	
CAPA賞	2点	
審査員特別賞	6点	賞状・賞品

※賞や賞品等について予告なく変更する場合があります。



明治建築をてらすイルミネーション

きらめき明治村

文様行燈 会場/呉服座周辺

イルミネーションがはじまったのは「明治時代」。
新たな時代「令和」の夜に、LEDなどの最新技術で、幻想的な光に包まれる明治建築をお楽しみください。

2019.11.2(土)～2020.1.13(月・祝)の土日祝 開催日は19時30分まで延長開村 ※雨天・降雪・凍結等により延長開村中止の場合があります。

1.2(木)・3(金)も開催 ※1.1(水・祝)は除く
※開催日により開催会場が異なります。

点灯時間 10月中旬頃、明治村公式HPで発表します
※点灯時間以降は「きらめき明治村」会場のみ見学いただけます。

フランク・ロイド・ライト没後60年記念 帝国ホテル中央玄関のガイドが充実します

2019年に没後60年を迎え、建築作品が世界遺産に登録されることを記念して、ライトが携った帝国ホテル中央玄関のガイド内容を更新し、期間中の土日祝はガイド回数を増やしてご案内します。なお、期間中に帝国ホテルのボランティアガイドにご参加いただいた方、先着2,000名様にオリジナルの特典をプレゼント!

開催日 10月1日(火)から11月30日(土)

時間 ①10:10 ②10:20※ ③10:50※ ④11:30 ⑤13:00 ⑥13:10※ ⑦13:40※ ⑧14:20 (各回20分)
※は土日祝のみ実施

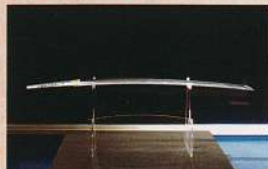
料金 無料 ※参加者多数の場合は、制限をさせていただきます。

語り継ぐ建築

明治建築をてらすイルミネーション

るろうに剣心特別展

剣心が見た幕末と新時代の到来



主人公「緋村剣心」が活躍する江戸幕末から明治初期の様子を、剣心の目線や心情などとリンクさせながら、原作シーンとともに紹介する特別展です。イベント開催を記念し、はじめて公式な許可を得て、岐阜県・関の無鑑査刀匠・尾川兼國氏により製作された「逆刃刀・真打」も出品中!

さらに! 9/11(水)からは、「名場面・複製原画」や「るろうに剣心—明治剣客浪漫譚—北海道編—」第一話の下絵(現物)や、和月先生作画資料、直筆サイン色紙などの展示が加わります!

※複製原画と下絵は、途中展示替えを行います。前期:9/11(水)～11/1(金)、後期:11/2(土)～12/15(日)

期間 ～12月15日(日) **会場** 千早赤阪小学校講堂 **料金** 800円(小学生400円※未就学児無料)

©和月伸宏/集英社

品川燈台特別公開

開催日 10月26日(土)・27日(日)

時間 10:00～16:00

通常非公開の燈台内部を特別公開のほか、海上保安庁マスコットキャラクター「うみまる」が皆様をお出迎えます。

協力/第四管区海上保安本部、(公社)燈光会、(公財)海上保安協会東海地方本部、大日本アガ(株)

事前応募制 魅った明治の音色 阿川村長と楽しむ風琴の調べ

開催日 11月30日(土)

会場 聖ヨハネ教会堂

時間 ①12:30～ ②14:30～ (各回約1時間)

出演 ナビゲーター 阿川佐和子氏
オルガン演奏 中村証二氏

皆様より「クラウドファンディング」でご支援をいただき修理を終えた大型リードオルガンの音色が、教会堂内に響きます。阿川村長のナビゲートによるオルガンよもやま話を、リードオルガン演奏の第一人者・中村証二氏による演奏とともに楽しみください。



阿川 佐和子氏 (明治村村長)
撮影:中木 功

応募方法などの詳細は、明治村公式HPをご覧ください。

※応募多数の場合は抽選となります。

各イベントの詳細・お問い合わせ先 <https://www.meijimura.com> または 0568-67-0314 ※イベントは予告なく変更・中止となる場合があります。



図1 解体時の清水医院と周辺の建物配置図

・長期で入院する患者もいたため、看護師さんは一名から二名ほど働いていた。節子様のお母様も手伝っていた。**E**

・病院の二階は来客用や入院用の部屋ではなく、子どもやお手伝いさんが使用していた。お正月には床の間前で家族そろって写真を撮っていた。**F**

・病院の二階の和室には熊の皮が敷いてあり、ちょっと怖い感じもあったが、よくかかれんぼなどをした。**F**

・隣地とは塀で区切られており、玄関脇にある袖壁は昔からあった。**G**

・病院の奥には主屋があり、病院の建物とは廊下で繋がっていた写真**G**、**H**

・主屋は病院より少し大きいくらいの面積の平屋建てで、土間を含めて八畳ほどの玄関、六畳と八畳の和室が二間、そして食事室があった**I**

・食事室には箱階段で昇る十畳と四畳半の半二階と、少し下がったところには台所と風呂があった。**J**

・蔵内にはベランダがあり、幾何学模様があしらわれた鉄製の手すりが設けられていた。手すりは戦時中に供出されたしまった。**M**

・蔵の屋上は上げられるようになっていて、花が植えられていたが、よく雨漏りしていた。**M**

・蔵の室内天井には睨み龍が描かれていた。**M**

・敷地の裏には学校(現在は幼稚園)があり、表から学校へ行く小道が続いていた。**N**

・学校と清水家の敷地の間には畑と民家があった。**O**

清水半治郎氏について(写真)

・専門は、外科、内科、産婦人科であった。往診には人力車を使用していた。

・趣味は仏教政治で、寺院とは親しくしていた。

・龍のモチーフが好きで、龍の絵馬を神社へ奉納したこともあった。

・ひげは二十一歳のころより伸ばしていた。以上の記録は、節子様のご記憶をもとにしたもので、創建時の状況とは必ずしも一致しませんが、今回お話を伺えたことと、手術室や入院ができる病棟があったことなど、解体時には清水医院が充実した設備を備えた個人病院として、須原



写真7 蔵二階のベランダでの集合写真(前列向かって右から二人目が半治郎氏)

注1
それぞれの記述に振られたアルファベットは図面のものと対応しており、どの場所のことを説明しているかを示しています。

清水医院の記憶

●2丁目17番地 清水医院

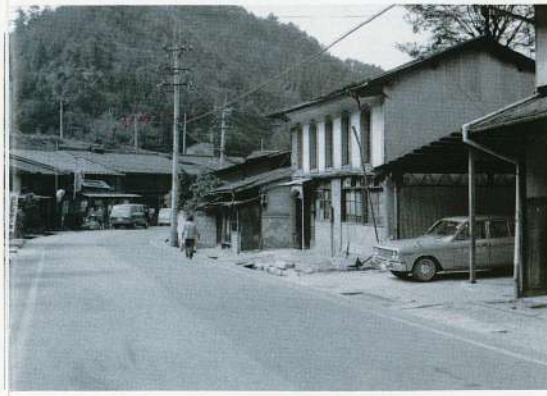


写真1 解体時の清水医院と旧中山道の様子

二丁目十七番地の清水医院は、明治三十(一八九七)年代、現在の長野県木曾郡大桑村の宿場町・須原の旧中山道沿いに、東京で医学を学んだ清水半治郎氏によって建てられた病院です(写真1)。玄関や窓の上部をアーチ型にして、外壁は漆喰に目地を入れ、石積の壁のように見せているのが特徴的です。昔ながらの宿場町の中でハイカラな目を引く建物でしたが、建物の老朽化に伴い、昭和四十七(一九七二)年に解体され



写真2 解体時の清水医院正面

て翌年明治村へ移築されました。病院の建物は、昭和二十六年に半治郎氏が亡くなって以降、別の医師に貸し出されたり、美容院となるなどの変遷を経ており、解体時には屋根がトタン葺きであったり、一階の外壁にも手が加えられたりしていましたが写真2、建物に残された痕跡などをもとに、竣工時の状態に近づけて復原されました。

今回のご見学時に節子様よりお話を伺う中で、建物の解体時、明治村へ移築された病



写真6 一階玄関土間から主屋玄関を見たところ(解体時)

・隣地とは塀で区切られており、玄関脇にある袖壁は昔からあった。**G**

・病院の奥には主屋があり、病院の建物とは廊下で繋がっていた写真**G**、**H**

・主屋は病院より少し大きいくらいの面積の平屋建てで、土間を含めて八畳ほどの玄関、六畳と八畳の和室が二間、そして食事室があった**I**

・食事室には箱階段で昇る十畳と四畳半の半二階と、少し下がったところには台所と風呂があった。**J**

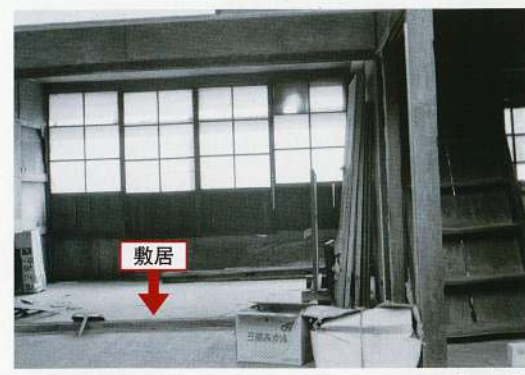


写真4 一階の現在非公開の部屋から診察室を見たところ(解体時)

・待合室の隣にある薬局は畳敷きではなく板の間で、待合室と薬局の境には薬棚が置いてあり、待合室からは出入りでき

・診察室と奥の部屋(現在非公開)を仕切る建具は嵌まっておらず、広く診察室として使用されていた。**A**

↓解体時の写真を確認すると、診察室と奥の部屋との境に建具を嵌める敷居が見られるため写真4、現在は建具を嵌めて二部屋として公開しています。

清水医院建物内と病院の付属施設について

院以外に敷地内には手術室(現存せず)や病棟(敷地内に現存)、そして主屋(現存せず)、離れ(現存せず)や蔵(現存せず)といった様々な建物があったことが分かりました。そこで今回は、清水医院建物内の様子や病院の附属施設、病院の建物をとりまく周辺の状況、そして祖父半治郎氏について、来村時に節子様から伺ったお話を紹介いたします。お話をともに書き起こした建物の配置図(同じようにご覧ください)を注1。

・来客があった際には主屋の和室へ通された。**K**

・主屋の奥には廊下で繋がった二階建ての離れがあり、廊下の脇には便所があった。**L**

・離れの奥には二階建てで地下室のある蔵があった。**M**

・蔵の二階にはベランダがあり、幾何学模様があしらわれた鉄製の手すりが設けられていた。手すりは戦時中に供出されたしまった。**M**

・蔵の屋上は上げられるようになっていて、花が植えられていたが、よく雨漏りしていた。**M**

・蔵の室内天井には睨み龍が描かれていた。**M**

・敷地の裏には学校(現在は幼稚園)があり、表から学校へ行く小道が続いていた。**N**

・学校と清水家の敷地の間には畑と民家があった。**O**



写真5 一階待合室から薬局を見たところ(解体時)

・土間室内側の縁に、薬の処方を持つ人々が座っていた。**C**

・病院と主屋の間には診察室と同じくらいの広さの手術室が設けられていて、廊下側の戸には磨りガラスが嵌められていた。**D**

・入院する患者用に病室を四室備えた病棟があった。病棟内は廊下が続いた奥に便所があり、台所も併設された長屋のようなつくりになっていた。病棟は現在も同じ場所であり、別の方が住んでいる。**E**

・島崎藤村の姉・園子が嫁いだ高瀬という家に、半治郎氏が若いときに書生をしていたという縁から、園子は療養としてこの病棟内の病室に入院した。**E**

の人たちの健康を守っていたことがよく分かりました。また、ご家族のお住まいとなっていた主屋や離れに加え、非常に立派な蔵の存在など、清水医院がどのような環境に建てられて、どのように使用されていたのかについて周辺の状況を含めて理解を深めることができました。

この度のご来村では、修理工事を終えた建物をご見学いただくことがメインであったことから、清水医院の建物やその周辺の状況についてのお話が中心となりました。また機会があれば、清水医院を開業した清水半治郎氏についてもお話を伺いたいと考えています。現地の見学を含め一時間ほどお時間をいただき、貴重なお話をしてくださった清水節子様をはじめご親族、ご友人の皆様にご場を借りて改めて御礼申し上げます。

なかった。**B**

・薬局にはテーブルがあり、作業は立って行われていた。投薬口の下には手水鉢のような洗い場があった。**B**

↓薬局の床面には炬燵、ないしは炉が使用されていたような切込みがあること、また床面の高さが敷居よりも低い位置にあるため写真5、本来は畳を敷いて使用する部屋であったと判断し、現在明治村では畳敷きの和室としています。